

16 都市再生緊急整備地域の整備の推進について

(内閣官房・国土交通省)

京都市南部創造のまちづくりを加速させる都市再生緊急整備地域(3地域)について、民間事業者による良好な都市開発事業を促進するためにも事業者への金融支援措置等の積極的な活用が不可欠であります。

とりわけ、「京都久世高田・向日寺戸^{むこうてらど}地域」におけるＪＲ東海道本線新駅設置(平成18年度開業予定)に合わせた駅前広場、自転車等駐車場などの公共施設整備事業について必要な国費の確保等を要望します。

要望事項

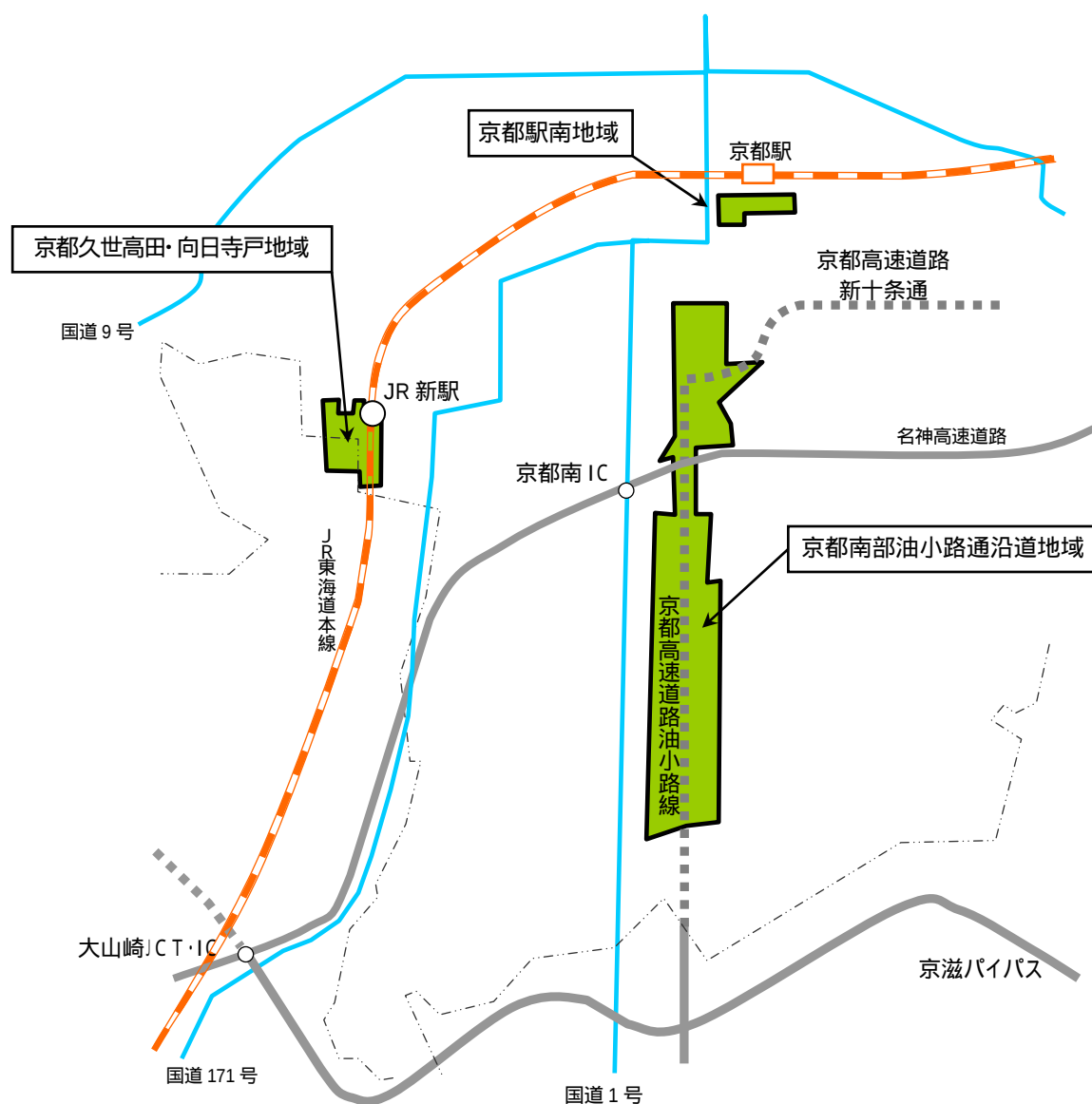
京都久世高田・向日寺戸地域におけるＪＲ東海道本線新駅設置に合わせた交通結節機能強化のための公共施設整備事業に必要な国庫補助金等の確保

主な要望先：内閣官房(都市再生本部)、国土交通省(都市・地域整備局都市再生推進室、街路課)

京都市の担当課：都市計画局 都市企画部 都市づくり推進課長 山本耕治 TEL 075-222-3503

建設局 街路部 街路建設課長 河嶋敏郎 TEL 075-222-3577

< 京都市の取組・現状 > 都市再生緊急整備地域の指定地域



地域名称	面積	整備の方針
京都南部 ^{あぶらのこうじ} 油小路通沿道地域 (高度集積地区)	約 213ha	名神高速道路等の広域交通結節点に近接するという立地特性を活かし、京都市南部の南北幹線道路である油小路通を中心とした地域において、新たな都市機能の集積により、京都の都市活力を担う先導的な中核拠点を戦略的に形成
京都駅南地域	約 12ha	京都の玄関口である京都駅の南側において、大規模低未利用地の土地利用転換や、敷地の共同化等による合理的な土地利用の促進を図ることにより、観光客を含む様々な人々が交流できる広域的かつ多機能な拠点を形成
京都久世高田・向日寺戸地域 (キンビール(株)京都工場跡地地区)	約 28ha	阪急京都線新駅設置、広域幹線道路の整備等により飛躍的に向上する交通利便性を活かし、大規模工場跡地の土地利用転換により、京都大学桂キャンパス地区や向日市の北部市街地の玄関口ともなる新たな拠点として、にぎわいとうるおいのあるまちづくりを推進